

ソボリンゴカミキリ六甲山に多産

(兵庫県甲虫相資料・224)

高橋 寿郎

1988年8月27日恒例の神戸生物クラブ鑑定会が神戸大丸屋上で開催され、その席上へ岡村八郎氏がわざわざソボリンゴカミキリ *Oberea sobosana* Ohbayashi の1♂ (9-VII-1988, Okamura leg.) を持参され、本年六甲山上で多数採集出来た(約30数頭。勿論、何日かにかけて)。それでこの1♂を進呈するとのこと。思いもかけない御恵与で喜んでいる。

ソボリンゴカミキリは、その名の如く九州の祖母山産標本に基づいて大林一夫氏が記載されたカミキリムシで、(*Longicornis*, 3:761, 1956)。現在では本州(ヤブツバキ帯上部-トウヒ帯)、四国、九州に分布していて、かならずしも珍しい種ではないようである。

兵庫県下での記録は多紀郡篠山町王池公園[辻, 1972]。美方郡村岡町兎和野高原[佐藤, 1987]が知られているだけで、割と珍しい種のようにであり、六甲山系からは勿論初めての記録になると考えられるので、此処に報告しておくと共に標本を御恵与下さった岡村氏に厚く御礼を申しあげたい。

さらに、筆者の所有の *Oberea* 属のカミキリムシを調べて見た所、次の様に本種を見出すことが出来たので同時に記録しておきたい。いずれも六甲山系になると考えられる。

神戸市北区藍那(1♀, 18-V-1982)、逢山峽(1♀, 2-VII-1982, 1♀, 1-VII-1986, 1♀, 8-VII-1987)

(AUG.1988)